

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaffgo.jp/kanto/>



「おおたかどや山標準電波送信アンテナ」 (福島県田村市・川内村)
(撮影者：関東森林管理局森林放射性物質汚染対策センター)

◎	関東森林管理局で実施する民有林直轄治山事業	計画保全部	治山課	・・・	2
◎	国有林モニター会議を開催	総務企画部	企画調整課	・・・	4
	国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を開催		〃	・・・	4
◎	小笠原の固有生態系を脅かす外来植物				
	～ アカギ編 ～	小笠原諸島森林生態系保全センター		・・・	5
◎	森づくり最前線				
	下越森林管理署	村松森林事務所	首席森林官	川内 敏郎	・・・ 6

関東森林管理局で実施する民有林直轄治山事業 計画保全部 治山課

関東森林管理局では、新潟県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、山梨県、神奈川県、静岡県の1都10県にわたる区域の国有林の管理をしています。

また、平成30年度現在、山梨県西部の野呂川地区、静岡県の大井川上流域、同富士山南部の小山地区の3箇所では民有林直轄治山事業を、新潟県の頸城地区で直轄地すべり防止事業を実施しています。

民有林直轄治山事業は、①事業費の総額がおおむね50億円以上であるとき。②高度の技術を必要とするとき。③当該保安施設の影響が都府県の区域を越える場合、のいずれかに該当し、かつ、当該保安施設事業が国土の保全上特に重要なものであると認められるとき、森林法第41条第1項の規定に基づき、民有林において国が直接実施するものです。

また、直轄地すべり防止事業は地すべり等防止法第10条に基づき同様の基準により、実施しています。

昭和22年に相模川上流域の山梨県道志地区で開始した民有林直轄事業

は、関東森林管理局で実施した事業の一つです。

この頃の相模川上流は山地の荒廃が著しく、また、源流部が山梨県であり下流域は神奈川県を流れ相模湾に注いでいるため利害関係が山梨県と神奈川県に及びことから、国が民有林直轄治山事業を実施することになりました。

開設当時の工法は限られており、大型の重機等はなく、人力による運搬や施工が中心であり、資材については、主に天然石を使用して治山ダム



(写真1) 石積の治山ダム

△(写真1)や土留工(写真2)を施工していました。緑化の材料は萱(かや)が使われており植栽木にはハンノキが使用されていました。

この道志地区の事業は昭和34年まで継続し、多くの崩壊地を森林に復旧し、計画が無事に終了したため、関東森林管理局は道志川地区の治山施設の管理を山梨県に引き継いでこの地区の直轄治山事業は終了しました。

現在でも、約50年前に作成された治山ダム等が当時のまま機能を発揮しており、これらの施設が森林を維持することにより、山地災害を防止し、豊かで美しい川の水を育み、生態系の保全に役立っています。



(写真2) 天然の大岩を巻き込んだ、石積の土留工

近年では、平成27年から、静岡県駿東郡小山町で民有林直轄治山事業を開始しています。

平成22年9月の台風9号に伴い、小山町では連続490mm、最大時間雨量118mmという記録的な豪雨に見舞われ、山腹崩壊や土砂流出が多数発生しました。さらに翌年度も台風災害等の影響により崩壊地の拡大や土砂流出等が進行し、下流の人家や道路等に甚大な被害をあたえ、さらに県境を



(写真2) 土留工の現在

石を積み上げている様子

越えた神奈川県酒匂川下流域と沿岸部にまで甚大な影響等を及ぼしました。

この地域は、富士山が噴火した際に噴出・堆積した「スコリア」と呼ばれる特殊な土壌であり、森林への復旧に当たっては、相当の事業費と高度な技術が必要になるため、関東森林管理局が民有林直轄治山事業により実施することになりました。

スコリアは固結度が弱いため降雨により浸食されやすいなど極めて脆弱である上に、土壌養分に乏しいことなどから森林の再生が困難な土質です。しかし、現在はこのような土質に対応するための技術が開発され

様々な工種により早期に効果的な対策を実施することができるようになりました。

脆弱な地盤支持力でも対応できる鋼製自在枠（写真3）や土砂の掘削が最小限で施工できるセルダムなど（写真4）がその例です。土質条件に対応した工種を組合せて治山事業を推進することにより数年後には緑豊かな森林が造成され、我々の直轄治山事業は概成を迎えることになります。

小山町の民有林直轄治山事業が終了して50年後には、道志川治山事業地のように自然豊かな森林となり、そのころには治山ダムなどの施設は

森林の一部として機能を果たしていることでしよう。そして、安全で安心して暮らせる「環境」を未来の子供たちに継承することを目指して事業を進めていきたいと思えます。



(写真3) 鋼製自在枠



(写真4) セルダム



崩壊した山腹斜面（山梨県笛吹川）



治山工事が終了した山腹（山梨県笛吹川）

今月の表紙

おおたかどや山

標準電波送信アンテナ

(福島県田村市・川内村)

森林放射性物質汚染対策センターでは、福島県の森林・林業の復興・創生に貢献すべく、旧避難指示区域における林業再生のための実証事業に取り組んでいます。

そのような実証事業地の一つ（田村市都路地区内）から、みなさんご持ちの電波時計へ標準電波を昼夜送り続けている「おおたかどや山標準電波送信所」の大きな傘型のアンテナが望めます。

このアンテナは、地上高250mで、大鷹鳥谷山（標高794m）山頂付近に設置されており、佐賀県にある「はがね山標準電波送信所」のアンテナとともに、全国各地へ標準電波を送り届けています。



国有林モニター会議を開催
 総務企画部 企画調整課



高性能林業機械による森林施業の視察

当日は、午前中、赤城山西麓の国有林で間伐による森林整備、高性能林業機械による伐倒・集材作業のほか、

当日は、午前中、赤城山西麓の国有林で間伐による森林整備、高性能林業機械による伐倒・集材作業のほか、

林野事業に活かしてまいります。

いただいたご意見・ご要望については、林野庁及び関係森林管理署等と連携して期待に応えられるように取り組んでまいります。

関東森林管理局では、国有林野事業について幅広いご意見をいただき、国有林野の管理経営に役立てていくため、一般公募による70名の方に国有林モニターを依頼しています。国有林モニターの皆様には、広報誌や森林・林業に関する資料を毎月お送りし、アンケート調査を実施するとともに、意見交換などを行う国有林モニター会議を開催しています。今年度は、9月26日に群馬県の赤城山周辺(群馬森林管理署管内)でモニター会議を開催し、14名の国有林モニターの方々にご参加いただきました。

国有林モニターの皆様からは、伐採後の森林の更新に当たっては、植栽だけでなく天然力を活用した更新も推進すべき。林業の成長産業化、山村地域の活性化には、木材需要をさらに掘り起こしていくことが重要。国有林の組織力、技術力を活かして、木材のブランド化等といった木材需要創出に取り組んでもらいたい。現在、学校でも盛んに行われている「食育」のように、「木育」のの一層の推進を望む。いただいたご意見をいただきました。林野事業に活かしてまいります。

国有林モニターの皆様からは、伐採後の森林の更新に当たっては、植栽だけでなく天然力を活用した更新も推進すべき。林業の成長産業化、山村地域の活性化には、木材需要をさらに掘り起こしていくことが重要。国有林の組織力、技術力を活かして、木材のブランド化等といった木材需要創出に取り組んでもらいたい。現在、学校でも盛んに行われている「食育」のように、「木育」のの一層の推進を望む。いただいたご意見をいただきました。林野事業に活かしてまいります。

国有林モニターの皆様からは、伐採後の森林の更新に当たっては、植栽だけでなく天然力を活用した更新も推進すべき。林業の成長産業化、山村地域の活性化には、木材需要をさらに掘り起こしていくことが重要。国有林の組織力、技術力を活かして、木材のブランド化等といった木材需要創出に取り組んでもらいたい。現在、学校でも盛んに行われている「食育」のように、「木育」のの一層の推進を望む。いただいたご意見をいただきました。林野事業に活かしてまいります。



治山事業施工地の復旧状況の視察

シカの侵入防止柵や樹皮剥ぎ防護ネット等のシカ被害対策を視察、午後は、赤城山山頂付近の国有林で治山事業施工地と治山

「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催
 総務企画部 企画調整課



協議会の様子

関東森林管理局では、毎年、国有林野が所在する地域の市町村長との会議を管内の各地域ごとに開催し、さらに各地域の代表市町村長の皆様にお集まりをいただいて局管内全体の「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催しています。今年度は、11月12日(月)に東京都千代田区の農林水産省三番町共用会議所において、管内13地域の代表市町村長等にご出席をいただき開催しました。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

協議会では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局からは、林業の成長産業化や地域貢献に向けた重点取組事項について説明を行い、意見交換を行いました。市町村長の皆様からは、森林環境税(仮称)の使途として森林環境教育が盛んになることが見込まれる中、国有林においても、自治体と連携して森林環境教育の場づくりを積極的に進めていただきたい。ドローンの活用により森林管理の省力化を図ってはどうか。

小笠原の固有森林生態系を脅かす外来植物

アカギ編

小笠原諸島森林生態系保全センター



小笠原諸島には、貴重な野生動物が生息・生育していますが、過去に移入等された外来種がその分布域を拡大し、小笠原の固有森林生態系に影響を及ぼしています。母島においては特にアカギという外来植物がその旺盛な生命力から猛威を振るっています。

となり、その需要を満たすことを期待されて一九〇五年以前に移入されました。過去の調査では8年目には生長良好な個体は樹高11m23cm、胸高直径21cmに達したとの記録が残っており、小笠原の土地に適應できる優良な樹種であることが示されています。

アカギは、コミカンソウ科アカギ属の常緑高木で琉球、台湾、中国などに分布しています。戦前の小笠原ではサトウキビからの精糖や鯉節製造等にあたって大量の薪炭材が必要

当初、その分布は植林地の周辺に限られており、固有森林生態系に大きな影響を与えることはありませんでした。しかし、その状況が一変したのは一九八三年の大型台風による

攪乱です。この攪乱を契機にアカギの分布は急速に拡大し、母島の代表的な森林である湿性高木林にも侵入しました。

アカギは在来の樹木に比べて生長力、繁殖力が旺盛で、大量の果実を生産し、落下した種子の殆どは当年に発芽し、一度定着してしまえば暗い林内でも生き続けることが可能です。また、萌芽再生力にも優れ、幹や枝が折れてもすぐに再生してしまい、一度定着すると永続してその場が占有されてしまいます。このような特性から、アカギは小笠原の固有森林生態系を脅かしています。

小笠原諸島森林生態系保全センターではこのアカギを抜き取りや伐倒のほか、形成層を剥がして枯らす巻枯

らしなど様々な方法で駆除を実施してきましたが、アカギの生命力はすさまじく、巻枯らしから再生する個体も出ていました。そこで、近年では安全な薬剤であるラウンドアップという農薬を樹幹に注入する薬剤注入という方法を主流にアカギの駆除に取り組んでいます。また、木が倒れて危険な箇所や下層に希少な動物がいる箇所については人が樹木に登り、先の方から徐々に切りおとしていく特殊伐採方法で環境に配慮しながら実施してきています。

こうした努力の結果、少しずつですが固有森林生態系が回復してきています。世界自然遺産にも登録されたこの小笠原の素晴らしい自然を後世に残すため、今後も邁進してまいります。



広がるアカギ



丸太からも再生するアカギ



特殊伐採



固有森林生態系への回復

森づくり最前線

下越森林管理署 村松森林事務所 首席森林官 川内 敏郎

村松森林事務所は、五泉市（旧村松町）にあり、五泉市と阿賀町に二万三千六百二十haの国有林を管理しています。五泉市の国有林には登山に手軽な管名岳や大蔵山があり、巨木100選に選ばれた大トチや、どつぱら清水と称される水源と共に白山周辺にケヤキ主体の広葉樹林が広がり、地域の方々に親しまれています。また、阿賀町の国有林は、福島県境に接し、広大な原生



管名岳・大蔵山

林が残っている飯豊山系への登山口にもなっています。五泉市・阿賀町ともに森林率が高く、国有林では保育間伐に力を入れていますが、近年はクマによる皮剥ぎの被害が多く発生しているため、保

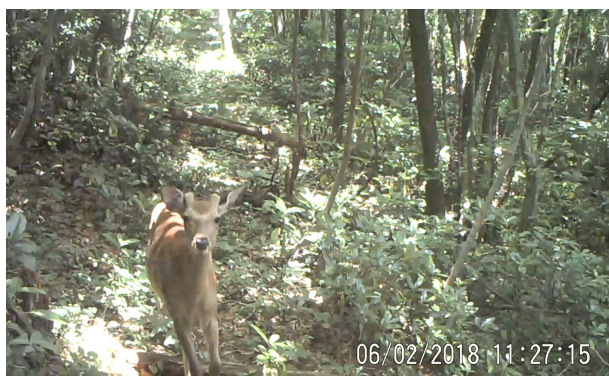


白山



剥皮防除状況

護テープや成長バンド等の対策を講じています。しかし、調査等で入山するたびに新しい被害木を見ることが多いのが現状です。



ニホンジカ（オス）

獣害に対しては、五泉市でも対策会議を開催し、サル・イノシシ・クマ等への対策を模索していますが、田畑・民有林への被害を食い止めることができない状況となっています。また、この地域では近年まで見ることが無かったニホンジカが現れるようになりました。

そこで国有林では、ニホンジカの生息状況を把握するため、センサーカメラを設置しています。ニホンジカの雄、子連れの雌が新たに確認されているほか、サル・イノシシ・クマ・カモシカの生息も確認されています。今後、民・国

が連携しながらの対応策をどういった形で進めていくのかが大きな課題となっていることを実感しています。当事務所に着任して半年ですが、思った以上に守備範囲が広く戸惑うことも多い毎日です。隣接する森林事務所などと協力し、効率よく業務を進めていきたいと思えます。

きのこ特集

朱鷺（トキ）色はピンク？

トキイロヒラタケ（食）（ヒラタケ科 ヒラタケ属）

6月中旬から7月下旬にかけて、広葉樹枯木特に藤蔓に群生します。カサは2cmから6cmの半円形で表面は朱鷺色からピンク色で平滑です。



柄は白色で1cmと短くヒダはピンク色で直生します。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL (027) 210-1158
FAX (027) 230-1363